

○タイトル 『千葉観光課 梨祭』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他

シーン1：観光課のオフィス

（田宮がデスクに向かい、悩んでいる。ボブが元気よく入ってくる。）

ボブ…おはよう、田宮！今日もいい天気だね！

田宮…おはようございます、ボブさん…。で

も、観光客の少なさには困っていますね。

ボブ… そうだね。何か新しいイベントを考えないと。でも、何をするかだよね。

田宮… そうなんです。何か海外の人もびつくりするようなイベントを…。

(ボブが突然閃く)

ボブ… そうだ！ 千葉って梨が有名だろ？ 梨を使ったイベントをしよう！

田宮… 梨ですか？ それは面白いかもしれない。でも、どうやって？

ボブ… スペインにはトマト祭があるじゃないか。あれの梨バージョンをやるんだよ！

田宮… (驚いて) 梨を投げ合うんですか？

ボブ…そうさ！楽しいし、インパクトがある！

田宮…でも、怪我人が出ないか心配です…。

ボブ…大丈夫さ！楽しいイベントを作るのが大事だよ。それに、安全対策もきちんと考えれば問題ないさ。

シーン②：イベントの準備

（田宮とボブが町の広場でイベントの準備をしている。観光課のメンバーや地元の人々も参加。）

田宮…梨を大量に準備しましたね…。本当にこれで大丈夫でしょうか？

ボブ…（笑顔で）心配ないさ、田宮。これだけの梨があれば、楽しいイベントになること

間違いなし！

観光課のメンバー…梨祭って聞いて、楽しみにしてきました！

田宮…ええ、楽しんでいただけるといいんですけど…。

シーン 3: 梨祭本番

(広場には観光客や地元の人々が集まり、イベントが始まる。梨を投げ合う人々の中、田宮とボブがイベントの様子を見守る。)

観光客 1: (アメリカ人) Wow, this is amazing! I never thought I'd be throwing pears in Japan!

観光客 2: (イギリス人) This is absolutely bonkers! I love it!

観光客 3: (オーストラリア人) Mate, this is  
the best festival ever! So much fun!

田宮: ボブさん、みんな楽しんでますね。こ  
れなら観光客も増えそうですね。

ボブ: そうだね。見てよ、田宮! みんな笑顔  
だろ?

観光客 1: (笑いながら) I can't believe how  
much fun this is! We need more festivals  
like this back home!

田宮: はい、確かに…。こんなに盛り上がる  
なんて思いませんでした。

ボブ: そうさ、田宮。楽しいことをやれば、自  
然と人は集まるんだよ。

シーン 4: イベント終了後

(イベントが終わり、田宮とボブが広場を片付けながら話している。)

田宮：ボブさん、今日は本当にありがとうございます。ございました。これだけの人が集まるとは思いませんでした。

ボブ：いやいや、田宮が頑張ったからだよ。それに、みんなが楽しんでくれたから成功だよ。

観光客 2：(イギリス人) Thank you for organizing this! It was unforgettable!

観光客 3：(オーストラリア人) Can't wait to tell my friends about this back home.  
Cheers, mate!

田宮：これからも、こんな楽しいイベントを考えていきたいですね。

ボブ… そうだね。次は何をやるうか？（笑）

田宮… ええ、次もまた楽しいアイデアを考え

ましよう！

エンディング

（田宮とボブが笑い合いながら、広場を後にする。イベントの成功を胸に、新たなアイデアを模索する二人の姿が描かれる。）

このように、田宮とボブの掛け